**井関 利明（1935年- ）慶應義塾大学名誉教授、社会学博士**

**来歴**

慶應義塾大学文学部人間科学科新設（1980年）

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部（SFC）創設の中心的人物（1990年）

千葉商科大学政策情報学部新設（2000年）

「環境情報」という言葉をつくりつつも、総合政策学部の教授となる．また、他にもさまざまな大学の新学部創設に関わる。大学改革を先導したイノヴェーターである． 日本に「ライフスタイル」という言葉を持ち込み、「一人十色」という言葉をつくった。近年では、ソーシャル・マーケティングや非営利組織におけるマーケティングに関する著作を執筆している．ビジネス理論の革新に意欲的。 シンポジウム・パネルディスカッションの名コーディネーターとしても有名。

**学歴**

1959年　　　慶應義塾大学経済学部卒業

1961年　　　慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程修了

1964年　　　慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了

1964-66年　イリノイ大学産業・労働関係研究所留学

**職歴**

1966-1968年　慶應義塾大学産業研究所助手

1968年以降　　慶應義塾大学文学部助教授，同教授

1974年　　　イリノイ大学社会学部客員準教授

1990年　　　　慶應義塾大学総合政策学部教授，同学部長

2000年　　　千葉商科大学政策情報学部教授，同学部長．大学院政策研究科博士課程教授

2004年　　　千葉商科大学大学院政策情報学研究科修士課程教授・同委員長

2006-2008年　千葉商科大学大学院政策研究科・政策情報学研究科客員教授

**公職**

特定非営利活動法人 バリアフリー協会 理事長

新成人式研究会 前会長

社団法人 日本マーケティング協会 理事

社団法人 社会経済生産性本部 評議員

社団法人 日本フィランソロピー協会 理事

価値創造フォーラム21 特別顧問

ランチェスター学会 顧問

イベント学会 副会長

政策情報学会 初代会長，顧問

市川市 教育委員（2007年度ー2008年度）

**専攻**

経済社会学、行動科学、科学方法論、現代思想論、情報メディア論、ライフスタイル論、マーケティング論、ソーシャル・マネジメント論、政策論

**著作**

『消費者行動の理論』丸善．1969年

『消費者行動の分析モデル』丸善．1969年

『消費者行動の調査技法』丸善．1969年

『賃金交渉の行動科学』東洋経済新報社．1969年

『福祉生活の指標を求めて』有斐閣．1973年

『ライフスタイル発想法』ダイヤモンド社．1975年

『福祉思考の論理』有斐閣．1976年

『労働移動の研究－就業選択の行動科学』総合労働研．1977年

『ライフスタイル全書』ダイヤモンド社．1979年

『生活起点発想とマーケティング革新』国元書房．1991年

『ワインは時を語る－アート、ビジネス、思想をめぐる6つの対話』丸善．2000年

『アスクル―顧客と共に進化する企業』PHP研究所．2001年

『ソーシャル・マネジメントの時代』第一法規．2005年

『経営の美学』日本経済新聞出版社．2007年

『街のコンシェルジェ：地域の住民が喜び，商店街が潤い，NPOが満足する』

（監修）東峰書房．(2007)

『創発するマーケティング』日経BP．2008年

**翻訳書[**

W.E.ムーア原著『産業化の社会的影響』慶應通信．1970年

M.ハナン原著『ライフスタイル戦略』ダイヤモンド社．1979年

ベネット＆カサージアン原著『消費者行動』ダイヤモンド社．1979年

P.コトラー原著『ソーシャル・マーケティング』ダイヤモンド社．1995年

D.ペパーズ原著『ONE to ONEマーケティング』ダイヤモンド社．1995年

D.ペパーズ原著『ONE to ONE企業戦略』ダイヤモンド社．1997年

D.ペパーズ原著『ONE to ONEマネジャー』ダイヤモンド社．2000年

N.J.ミッチェル原著『社会にやさしい企業』同友館．(2003)

P.コトラー原著『非営利組織のマーケティング戦略』第一法規．2005年

P.コトラー原著『ミュージアム・マーケティング』第一法規．2006年

他論文多数